

第6回 納涼祭の御礼

去る8/9の日曜日、「第6回小江戸の庭・納涼祭」が皆様のご支援ご協力のもと、盛大に開催されました。

当日はお天気にも恵まれ、沢山の方に足を運んで頂きました。皆様、お楽しみ頂きましたでしょうか？不慣れな為、失礼な事も多々あったとは思いますが、利用者様の笑顔と職員の情熱に免じてお許し下さいませ。

また、来年も是非足をお運びください。

バザー品の売り上げは17,020円になりました。ご協力有難うございました。売上金は川越市菓子屋横丁支援義援金に寄付致しました。

新入職員紹介

管理栄養士の山口澄恵です。前任の栄養士の梁瀬が産休に入りましたので、私が引継ぐ事になりました。宜しくお願い致します。行事食やユニット調理等、皆さんに楽しんでいただけるよう色々企画していきたいと思っております。



敬老会のお知らせ

職員一同、利用者様の敬老のお祝いをさせていただきます。

2階エレベーターホール前(10:45~11:30) マンドリン演奏

3階エレベーターホール前(9:45~10:30) マンドリン演奏

※長寿お祝いの方対象のみ、表彰させていただきます。

15時から利用者様には、「モンプレジール」のケーキをお出しする予定です。

社会福祉潤青会

介護老人福祉施設 小江戸の庭

350-0031 埼玉県川越市大字小仙波 823-1

☎049-227-5661 fax049-227-5681

小江戸横丁 VOL36 名古屋紀行より

皆様こんにちは。記録的な暑さも落ち着き過ぎやすくなってまいりましたが、皆様如何、お過ごしでしょうか。去る8月9日の納涼祭では、川越市長様もごあいさつして頂き、川越市の市議会議員の方々、自治会の方々にも参会頂き、総勢約400名にて盛大に無事に行われましたこと皆様方には改めて感謝申し上げます。一部不手際がありましたことについて、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

さて、先日名古屋に行く機会がありましたので、手記をさせていただきます。

「尾張名古屋は城でもつ」というフレーズを聞いたことはありませんか？

「尾張名古屋は城でもつ」とは、三重県伊勢地方の民謡「伊勢音頭」にも歌われている有名なフレーズです。この「もつ」とは「保つ」の意味で、「城」は「名古屋城」を指します。従って、この言葉は、「尾張の名古屋は名古屋城のおかげで保つ、つまり繁栄している。」という意味になります。

かつて名古屋城の本丸には、天守閣の南側に本丸御殿がありました。この本丸御殿は、近世城郭御殿の最高傑作と言われ国宝に指定されていた建物で、現在、国宝になっている京都二条城の二の丸御殿と並ぶ武家風書院造の双壁と言われていました。又、狩野貞信や狩野探幽など日本画史上最大の画派「狩野派」の絵師たちにより、部屋ごとに異なる題材で床の間絵、襖絵などが描かれ、絢爛豪華に彩られていました。戦災により本丸御殿は失われましたが、取り外すことができた襖絵や天井板絵などは焼失を免れ、今も大切に保管されていますが、現在3期にわたり総工費150億円をかけて復元中です。現在は、第一期工事の玄関と、表書院を公開しております。その他は、見学公開中です。

もちろん名古屋城も散策しましたが、土台作りといいますが、当時の日本の土木技術の高さに感銘を受けたと共に、熱田神宮で娘がおみくじをひいて、「大病」→「すぐ直る」と書いてあり、帰宅後手足に蕁麻疹が現れ心配しましたが、2日間で現れなくなり新学期を無事に迎える事になりました。最後に、熱田神宮前の蓬萊軒のひつまぶしも味な思い出となりました事を最後にご報告させていただきます。

小江戸の庭 施設長 神谷 茂人



(玄関・車寄 外観)



(表書院一之間 北東面)